



(皆様からのご意見、ご要望をお気軽にお寄せください。ホームページはほぼ毎日更新中!)

まずは私自身が信頼ある政治家に、そして、「必ず」政治に信頼を取り戻す!

参議院議員選挙が終わりました!



7月11日に行われた参院選挙結果で、民主は躍進し、自民が後退しました。

原因は様々考えられますが、自民がダメなら民主党という、自民党に代わる受け皿として、民主党が評価され始めた結果だと考えています。また、自民党自身も、自民単独ではなく、もはや公明党・創価学会の力を借りなければ自力では戦えない政党になったという評価も多くなってきました。

経済も適正な競争があってはじめて、消費者に良い商品が安く提供されることになる訳です。その商品が1社だけでしか作れないという環境であれば、その商品の質も値段も悪くなっていきます。政治も同じで、政権をめぐる適正な競争が政党間で行われ、時に政権が交代する必要があると思います。

私は、今の民主党を全て支持する訳では決してありません。しかし政権交代を起こすためには「自民がダメになったら民主」という流れをもっと加速させなければなりません。今後とも、国政の動向にも注目してゆきます。

新潟被災地を現地視察・支援ボランティアに!

去る8月1日、7月におきた新潟県集中豪雨で被害にあった新潟県三条市に現地視察、救助

ボランティア参加をしに行きました。学生時代のように数日間向う事は出来ませんでしたが、私が団長になり、代議士、市議らとともに決行。

被災地の街中は消毒液のにおいが充満し、至るところに故障車やゴミが山積みになっており、豪雨のすごさを感じました。私がボランティアを行ったお宅は高齢者二人暮らしで、まだ泥が自宅内に残っており、猛暑の中、汗だくになりながらの作業でした。



県議会で意見書を議員提出!

これを受け、水害対策の抜本改革の必要性を感じ、県議会で早速、議員提出議案・意見書の作成に当たりました。自民党にも同意を頂き、意見書の文案の作成は私が当たり、議員提出で「水害対策等の防災体制を抜本的に見直すことに関する意見書」を全会一致で可決成立させました。

吉田よしのり一行日記

(詳細はホームページをご覧ください)

- 6/19-20 参院選打合せ会議、消防視察
- 6/21-22 大泉学園駅頭、県議会総会
- 6/23 清瀬駅頭、参院選打合せ
- 6/24-25 朝霞台駅頭等、参院選手伝い
- 6/26-27 商工会青年部、参院選手伝い等
- 6/28 県議会都市計画部議会、団体取材
- 6/29-7/5 参院選手伝い、選挙出陣式等
- 7/6-7 後援会役員会、横浜環境セミナー
- 7/8-11 新座市陸上協議連盟、参院選手伝
- 7/13 県議会本会議・開会、会派会議等
- 7/14-15 県議会議案調査、市議との懇親
- 7/16 県議会本会議、知事後援会幹部会
- 7/17-18 朝霞青年会議所、市内夏祭り等
- 7/19 四市議員団研修会、支持者周り等
- 7/20-23 県議会本会議、一般質問、懇親
- 7/24-25 市内夏祭り数件、書道展授賞式
- 7/26-28 県議会・総務常任委員会
- 7/29-30 県議会・特別委員会、議案調査
- 7/31 高校生インタビュー、代議士打合
- 8/1 新潟三条市、集中豪雨ボランティア
- 8/2 県議会本会議、閉会、会派会議等
- 8/3 春日部、国土交通省雨水管整備視察
- 8/4-5 支持者周り、後援会暑気払い等
- 8/6 県議会調査打合せ、朝霞青年会議所
- 8/7-8 支持者周り、市内夏祭り等数件
- 8/9 上田知事後援会暑気払い等
- 8/10-11 大泉学園駅頭、永田町議員研修
- 8/12-14 支持者周り、埼玉大学教授会
- 8/16 志木駅頭、支持者周り等
- 8/17 ひばりが丘駅頭、県議会事務等
- 8/18 新座駅頭、市議、参院選議員面談

吉田よしのりの自由帳 【①私の方が感動した演説 ……】

学生時代、友人の学生と、選挙ボランティアをやっていました。辻説法と呼ばれ、町内の辻ごとに小さなマイクでひたすら演説をするのが仕事。慣れない演説に聞いてくれる人もほとんどなく、「うるさい」と怒鳴られるのが関の山。でも、政治を良くしたいと言う一心で、ちょうど暑い折、汗びしょりになって、一生懸命、その想いを訴えていました。

そんなある日、演説を終え、次の場所へ移動しようとした時、家のドアがバタンと開きました。「うね、怒られる!」と思った瞬間、家から老婦人が近づいてき、そっと手紙を手渡してくれました。そしてその手紙には「感動しました。あなた方、若い方で良い政治を作って下さい」とだけ。

手紙は、私がアフリカで強盗に遭うまで、手帳に入れて、常に大切に持っていました・・・。



ど〜なってるの？ 新座市の水害対策！

新座市の雨水の行方！



新座市に降った雨はアスファルトに弾かれ、道路脇の側溝から雨水管に流れ込みます。その雨水管が地図のように北部中部では柳瀬川に、南部では黒目川に通じ荒川にそそぎます。新座の雨水はこうして処理されます。

「雨水管」は雨水を川まで運ぶ設備で、道路や住宅の整備が充実するにつれ必要になっていきます。アスファルトによって、水を吸収出来ず、雨水を大きな河川に流す必要があります。初めは細い管ですが、下流に行くにつれて管が合流するとかなりの大きさになり、巨大なものは直径が地下鉄よりも大きくなります。

「雨水管」を整備することは、いわば地下鉄を張り巡らせるようなものであり莫大な費用がかかります。県としても県民の安心・安全のため、早急な整備が求められる一方、費用の面から、なかなかそのスピードをあげられません。

去る8月3日には国土交通省が進めている春日部の雨水管施設に若手議員と共に視察を行いました。

新座市の雨水管地図

川 
 雨水管 
 現在建設中 



地下への入口。50m地下に雨水管が張り巡らされています。



これより、総工費2,000億円以上かけて工事を進めている雨水管内部へ。



スタッフより一言！



スタッフの武井です。今、学生ボランティアとして吉田さんのもとで活動しています。

先日は新潟の復興ボランティアや春日部の雨水管の視察に同行させてもらい、貴重な経験をしてきました。

日々、様々な所を飛びまわり、積極的に活動を続ける吉田さんの見た目では分らないジムにでも通っているかのようなスタミナには驚かされてしまいます。私は昔、バレー部で鍛えていたはずなのですが、付いて行くのがやっとなで、バテてしまったりもします。体力をつけて、これからも吉田さんからより多くの事を学んで行きたいと思います。

内部は内径6-7m。
 は全て自転車です。この
 間に豪雨の際、雨水が流れ
 込みます。



「吉田よしのり」プロフィール

- 1974 (昭和49)年、札幌市生まれ(29才)。大阪市立新森小路小学校、西東京市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て法政大学法学部卒業。卒業後、野村證券株式会社に入社。
- 2000年2月、新座市議会議員に市政始まって以来の、3,855票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。現任一期目。総務常任委員会、決算特別委員会等に所属。県議会では無所属、民主系を中心とした党派「地方主権の会」を新たに結成。徹底した行財政の効率化、外郭団体の整理統合、民間委託・民営化の推進、情報公開の推進、NPO支援などを訴える。
- 趣味は旅行、水泳、サイクリング、ドライブ、写真などなど。モットーは、「お節がやらずに誰がやる、今、やらずして、いつ出来る。」「負けに不思議の負けなし、勝ちに不思議の勝ちあり」